

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

【国語】

平均正答率は全国状況とほぼ同程度か、それを上回る結果となっており、良好な定着がみられます。特に「知識及び技能」の側面では、漢字の読み書きを含め日頃の継続した学習の成果が表れています。一方で「思考力・判断力・表現力等」においては、目的に応じて必要な情報を見つけたり、自分の考えを文章にまとめたりする力に課題がみられます。

【算数】

平均正答率は全国状況とほぼ同程度か、それをわずかに下回る結果となっています。領域別では「測定」に関する知識や理解が非常に高い傾向にあります。課題としては「変化と関係」や、思考力・判断力・表現力等を必要とする記述式の問題において、全国平均を下回る傾向がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

【よい傾向が認められる項目】

「人が困っているときは進んで助けていますか」や「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに対し、全国と比較して非常に肯定的な回答が得られました。また「自分にはよいところがあると思う」といった自己肯定感に関する項目や、国語の学習に対する意欲についても、全国を上回る良い傾向を示しています。

【課題となる項目】

「朝食を毎日食べていますか」といった基本的な生活習慣に関する項目や、「平日の読書時間」において、全国平均と比べて低い傾向があり、課題として挙げられます。また、家庭でのICT機器（PC・タブレット等）の学習への活用時間についても、さらなる向上の余地があります。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・言語を使って自分の考えや思いを伝え合う場面を授業や活動に多く取り入れ、子どもたちの考える力、判断する力、表現する力を育てます。
- ・算数では、図形や変化の関係を実際に操作したり視覚化したりする活動を取り入れ、思考の過程を説明する力を養います。
- ・ICT機器を「調べる」「まとめる」だけでなく、自らの考えを深め、発信するためのツールとして活用する授業改善を推進します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・規則正しい生活リズムの確立、特に「毎日の朝食」を摂るよう声掛けをお願いします。
- ・平日の家庭学習において、宿題以外の読書や、タブレット等を活用した学習時間を確保できるよう、ルール作りと見守りをお願いします。
- ・その日の学校での出来事や、自分の良いところについて親子で会話する時間を持ち、自信を深めさせてあげてください。